

SOWER

ソア=種まく人

No.36
September 2010
財団法人
日本聖書協会

特集 聖書協会世界連盟の歴史 Part 1 「聖書協会世界連盟の誕生」1804年—1946年



SOWER

ソア

No. 36

2010年9月1日発行
「年2回発行」

発行・財団法人 日本聖書協会

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル
電話 03-3567-1988 FAX 03-3567-4451
振替 00160218410

みんなの聖書 絵本シリーズ

幼い心に聖書の世界をあざやかに映し出す、日本人画家の手で描かれた絵本聖書。
読み聞かせのほか、絵本の朗読をお子さまがひとりで聴ける音筆もご用意しています。



音筆 朗読：久米小百合さん



神さまの国
～イエスさまのたとえ話～

最新刊
第31巻

新約聖書シリーズ 画：杉田幸子／旧約聖書シリーズ 画：藤本四郎
天地250×左右210mm 30ページ 各巻1,000円(税込)

★6巻ケース入りセット発売中 1-6巻、7-12巻、13-18巻、19-24巻 各セット6,000円



あなたについていきます
～ルツものがたり～

透明な心にあざやかに映る、聖書の世界。

初めて自分で読む聖書の世界は、年齢にあわせて、マンガシリーズ、絵本シリーズから。
新共同訳聖書に忠実な内容をやさしく伝えます。

みんなの聖書 マンガシリーズ

わくわくドキドキ、ページをめくる、大好きなマンガ。
日本人人気漫画家によるオールカラーのマンガ聖書は、お子さまに限らず誰でも気軽に手にとって、読みすすめるうちに聖書の世界に入り込んでいきます。
聖書の記述に沿った編集で、どなたにでも安心してお読みいただけるマンガ聖書です。

ビジュアルと共に心に刻む旧約聖書。
画：あずみ暎



新刊

旧約聖書Ⅲ
預言者(プロフェツ)
～希望を告げし者たち～

2010年12月発売予定



旧約聖書Ⅰ
創世(ジェネシス)
～光を受けし者たち～



旧約聖書Ⅱ
王国(キングダム)
～国を建てし者たち～

イエスの生涯と弟子たちの伝道ものがたり。
画：ケリー篠沢



新約聖書Ⅰ
救世主(メシア)
～人類を救いし者～



新約聖書Ⅱ
使徒(アポストロス)
～遣わされし者たち～

天地210×左右140mm 各巻1,050円(税込)

■お求め、資料請求はお近くのキリスト教専門書店まで

JBS 財団法人
日本聖書協会
JAPAN BIBLE SOCIETY

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル
TEL 03-3567-1987 FAX 03-3567-4451 <http://www.bible.or.jp>

ホームページからご注文いただけます(送料別途)



新35 聖書の 世界の

写真／文 横山 匡



ギデオンの戦いは ハロドの泉から

ギルボア山とモレの丘の間に、東西に広がるイズレエル（ヘブライ語で「神、種を蒔きたもう」の意）平原は、イスラエルで最も肥沃な穀倉地帯です。

ミディアン人たちはモレの丘のふもとに陣を敷き、ギデオンはギルボア山のふもとにあるエン・ハロドのほとりに陣取ります。「主の戦いのためには兵士の数を減らせ」との命で、まず恐怖心のある者を去らせます。さらに、渴きを覚える初夏の頃だったので、泉の水の飲み方を見て、油断なく戦う姿勢のある者を選び出します。こうして最初に集まった兵士の100分の一となる300人で、海辺の砂のような数の敵を打ち破ります（士師記七章）。紀元前一二世紀頃の出来事です。

現在、エン・ハロドの周辺は国立公園として整備され、プールなどの施設も作られています。泉から湧き出す水路を挟んで芝生の緑が広がり、ユーカリの林が快適な木陰を作っています。過越祭のように長い連休などには、林の中にテントがたくさん張られ、家族でバーベキューや水遊びをして楽しんでいます。ギデオンの末裔は、とりわけ水辺を愛する国民のようです。

巻頭聖句

わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができ。

（ピリピ人への手紙4章13節、口語訳）

わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。

（フィリピの信徒への手紙4章13節、新共同訳）

藤村和義

ふじむら かずよし
日本基督教団 渋谷教会 牧師

中学生の頃、ある先生に、聖書の扉の頁に聖言を書いていただくことになった。その先生は、「免許皆伝の聖言を書いてあげよう」と言われた。何だろうと思うと、この聖句だった。確かにこの言葉は、キリスト教信仰の奥義を言い表している聖句である。以来約六〇年、この言葉によって支えられてきた。「わたしを強くして下さるかた」、聖霊によって、判断力、行動力、忍耐力を与えられてきた。さらにこのお方にお頼りしたい。

CONTENTS

SOWER No.36 2010

- 2 ソア36号発行によせて
BS NEWS 渡部 信
- 3 特集
聖書協会世界連盟の歴史
Part 1 「聖書協会世界連盟の誕生」
1804年—1946年
編集部
- 8 聖書セミナー⑫ 山内一郎
福音書を読む ―― 「教師」イエスの探求
- 10 人物と聖書④ 鈴木範久
野村胡堂と聖書
- 12 エッセー⑤ 長谷川与志充
なくてはならぬもの
- 14 Bible Guide
聖書をiPhoneで！
マンガシリーズ最終巻
- 15 新刊『みことばフォトブック』／
第2回「写真とみことば」募集
- 16 日本聖書協会 後援会にご入会ください！
- 17 聖書図書館蔵書シリーズ④
シナイ写本
リプリント版 1969年

表紙の言葉

関西学院大学のランバス記念礼拝堂を描きました。この礼拝堂では卒業生が結婚式を挙げることもあったか。社会人としての第一歩を踏み出していく母校で、新たな人生のステップを始める。そこでは、そんな未来を夢見て語りあう光景が幾度となく繰り返されているのではないのでしょうか。（絵・文＝佐藤百合子）



聖書協会世界連盟の歴史

Part 1

「聖書協会世界連盟の誕生」 1804年—1946年

聖書協会を少しでもご存じの方は、メリー・ジョーンズの物語を聞いたことがあるかもしれません。しかし、その後、現在の日本聖書協会を含めた聖書協会世界連盟がどうしてできたか、そこに誰がどのように関わったかについて取り上げられたことはあまりありませんでした。聖書をひとりでも多くの方に届けたいという願いが今日のようなかたちになるまでを、2回に分けて特集したいと思います。

編集部



メリー・ジョーンズ

聖書協会の歴史は、ひとりのイギリス人少女メリー・ジョーンズのエピソードから始まります。当時、聖書はたいへん高価で、メリーの住むウェールズ地方の村の教会にも、一冊しか置かれていませんでした。

「聖書を自由に読むことができたなら」この熱い思いを胸に、彼女は懸命にお金をため、四〇キロメートル離れた遠い町まで、一冊のウェールズ語の聖書を求めて歩いたのです。メリー・ジョーンズの話に感動した人々は、一八〇二年に会議を開き、「ウェールズだけでなく、全世界のためにも」(If for Wales, why not for the world?) のスローガンのもと、一八〇四年に英国と海外聖書協会 (British and Foreign Bible Society = BFBS) を設立します。「誰もが安価に聖書を手に入れることができ、母国語で自由に聖書が読めること」。これこそ、聖書協会の働きの出発点となりました。それ以前にも、聖書を頒布する団体はドイツなどにありました。しかし、組織的な聖書頒布を目的とするこの運動は、一八〇九年にスコットランド聖書協会 (National Bible Society of Scotland = NBS) を生み出し、一四年には

◆ 歴史の始まり

ソア36号発行によせて

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。世界情勢が目まぐるしく変化中、日本の政治、経済も、新しく進むべき道を模索する状態が続いています。どこに信を置き、何を目標にして生活すべきか、多くの人がその答えを求めています。このような混迷の中、日本聖書協会は、神様からの救いのメッセージである聖書のみ言葉に多くの人に会っていただきたいと願い、日々活動を続けています。

今号は、聖書協会世界連盟 (UBS) の歴史を追いながら、その聖書普及の働きを特集として扱いました。今年9月にも、UBSの世界大会が韓国のソウルで6年ぶりに開催される予定です。140カ国以上の聖書協会の代表が集まり、これからの聖書普及事業の将来と幻について5日間にわたり話し合います。

今やキリスト教会の発展は、欧米からアジア、南アメリカ、南アフリカへと移ろうとしています。そして、情報伝達の手段も、本としての聖書から電子データへの聖書へと広がりを見せています。また若い世代は、古典的な宗教書ではなく、実際の生活の中で生きて働く信仰の書として、聖書と向き合おうと苦悶しています。これらの変化や課題にどう応えるべきか、私たち日本聖書協会は取り組んでいかなければなりません。どうぞこれからも皆さまの変わらぬご支援とご助言をいただければ幸いです。主の恵みを祈ります。



財団法人 日本聖書協会

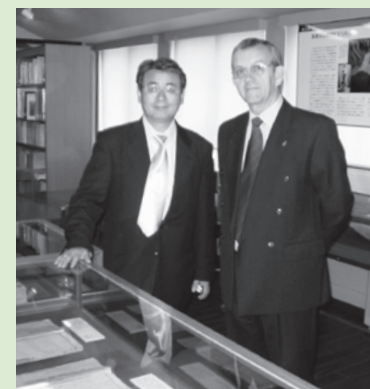
総主事 渡部 信
わたべ まこと

BS NEWS

「聖書協会世界連盟」 について

聖書協会世界連盟 (UBS) の事務所は、ロンドンから西に50キロメートル、パディントン駅から列車で40分ほど南下したレディングという町にあります。この事務所は、世界の4つの地区、すなわちアメリカ地区、アジア・太平洋地区、ヨーロッパ・中近東地区、アフリカ地区を統括し、各聖書協会の献金や支援要請を相互に調整するコーディネーターとしての役割を担っています。

各国聖書協会は独立しており、自由な交わりと信頼関係のもとにUBSに加わっています。現在加盟している145の聖書協会のうち、およそ40の聖書協会が献金によって他の100の聖書協会を経済的に支えています。このような支援制度によって、全世界で安価な聖書を必要な数だけ頒布することができるわけです。UBSへの支援献金も強制ではなく、他の聖書協会から支援の要請がある場合に、集められた献金額に応じてプログラム別に仕分けし、援助します。



通言語は英語となっていますが、それぞれが自分の国で学んだ英語で話すため、会議ではさまざまな発音が飛び交います。この10月には東京で世界連盟理事会が行われる予定で、日本聖書協会がホスト役を仰せつかっています。この会議では世界各国における全ての活動報告を受け、聖書普及のための新しい戦略を検討することになります。



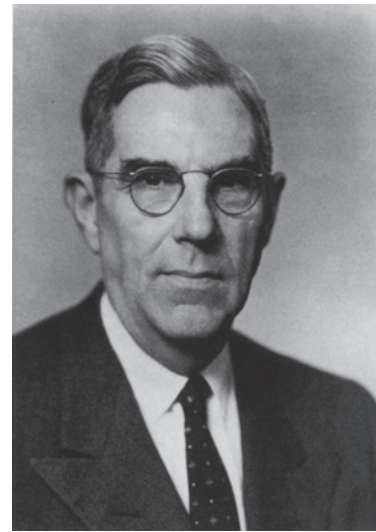
UBSの事務所"UBS World Service Center"のあるビル (Reading Bridge House)

ミラー・ミロイUBS総主事と



BFBS最初の聖書館。
1816年に購入。10 Earl
Street, Blackfriarsとい
うのが正式な住所。

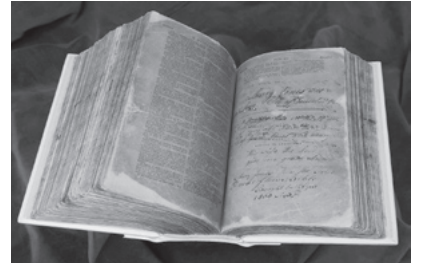
1868年に建てられた新
しいBFBSの聖書館ビ
ル。ロンドンの Queen
Victoria Streetに建て
られた。当時のウェル
ス皇太子（後のエドワ
ード7世）が礎を置いた。
その後1985年まで117年
間、BFBSの本拠地だっ
た。



エリック・ノースABS総主事(1927-
57)は、UBS理 事 長 (1949-54)
でもあった



メリー・ジョーンズ墓標



メリー・ジョーンズが使用した聖書

オランダ聖書協会、一六年には米国聖書協会
(American Bible Society = A B S) と、各国
に聖書協회를次々と誕生させます。こうして聖
書普及運動は、各国が送り出す宣教師たちと
もに全世界に拡大していったのです。

◆三つの時代

聖書協会世界連盟が誕生するまでの歴史は、
大きく三つに分けられます。

まず、「聖書協会の単独行動」の時代です
(一八〇四—一九〇〇年)。それぞれの聖書協会
が、自国から派遣される宣教団体のサポートに
専念するあまり、互いの働きに関心がなく、宣
教国において重複と競合が繰り返されました。

次に、「慎重に協議された協力体制」の時代
です(一九〇〇—三二年頃)。ふたつの主要聖
書協会であるBFBSとABSが、その活動領
域の区分をめぐって話し合いの時を持ちまし
た。その結果、それぞれ身を引く国として、B
FBSはフィリピンと中央アメリカ、ABSは
韓国とペルシアが決まり、また場所によっては
両国が働きを分かち合うこととなり、宣教国で
の活動が円滑になりました。

時を同じくして、日本では、西日本を担当す
るBFBSとNBSSが神戸支社を、また東日
本を担当するABSが東京支社を設立し、これ
らが日本聖書協会の前身となっています。

シア、ブルガリア、南はエジプト、スーダン、
さらに南アメリカや極東にまで聖書協会の支社
を設立しました。

◆一致協力への息吹

一九三二年七月、将来の聖書協会世界連盟の
設立につながる歴史的な会議がロンドンで開催
されます。ABS、BFBS、NBSSの理事
と職員が一堂に会しました。終始、友好的なキ
リスト教精神に包まれたこの会議では、これま
でバラバラだった相互関係を団結へと変え、一
致協力を促しました。そこから生まれた実のひ
とつが中国聖書協会の設置です。

また、ロンドンでの会議に欠席していたオラ
ンダ聖書協会は一九三九年七月、設立一二五周
年を機に、三聖書協会ならびにノルウェーとフ
ランス聖書協会を招待し(ドイツ、スウェーデン、
デンマークの聖書協会も招待されたが欠席)、ウッ
ドショールテン、ゼイストで協議会を開催しまし
た。「相互協力」がここでも最大の討議事項で
した。

そのころ、世界教会協議会(World Council
of Churches = W C C) も形を整えつつありま
した。一九一〇年のエジンバラ宣教会議を指揮
したジョン・モットも、オランダでの協議会に
出席して、参加者の心を突き動かし、一致協力
を求める気運が一気に高まりました。

一九一〇年、相互理解を深めるため、ロンド
ンでBFBSとABS双方の代表者による委員
会が発足します。どちらか一方の聖書協会が頒
布・翻訳事業を始めた地域では、もう一方の聖
書協会は相手に全権をゆだねることとし、互い
に協力関係を強固にしました。

一九一九年三月、ABSが「各国聖書協会に
よる世界連合」の設立案を提出しました。しか
し、オランダ聖書協会による「主要聖書協会の
友好関係と助言の場を定期的に設ける」という
協議会案を支持していたBFBSは、ABSの
提案を拒み、このときは「各国聖書協会による
世界連合」の夢は実現されませんでした。

こうした状況のもと、一九二八年にABS総
主事としてエリック・ノース、二九年にBFBS
S総主事としてアーサー・ウィルキンソン、
三一年にもうひとりのBFBS総主事として
ジョン・テンブルがそれぞれ任命されました。
意気投合した三人は、良き同志として、各国の
聖書協会が尊重と信頼をもって一致協力する聖
書協会世界連盟の構想を推し進めていくことにな
ります。

最後に、「秩序ある構造的協調」の時代です
(一九三二—四六年)。複数の聖書協会の合同支
社が設立され、また独立した各国聖書協会が生
まれました。ノースABS総主事とテンブルB
FBS総主事は共に中近東に出かけ、北はギリ

しかし、ファシズムや独裁者の台頭と、たち
込める戦雲の中で、時代はそのまま第二次世界
大戦へと突入していき、聖書協会世界連盟の設
立はまたもや先送りされたのです。BFBSは
ヨーロッパへの連絡を閉ざされ、ABSの協力
体制も、真珠湾攻撃を発端にアメリカが戦闘態
勢に入ったため頓挫します。

◆戦時下に戦後を見据えて

戦時の混乱の中、ノースABS総主事は、多
くの捕虜たちの精神的支援のため、ジュネーブ
のオリビエ・ベガンWCC総幹事宛てに手紙を
書き、収容された人々へ聖書を届けるよう依頼
しました。WCCはそれを受け、アメリカの経
済的支援のもと、頒布事業は終戦まで続きまし
た。

一九四四年六月、連合軍はノルマンディーに
上陸し、欧州における勝利に大きく一歩前進し
ます。同年一月末にテンブルBFBS総主事
は、ニューヨークにてノースABS総主事と理
事に会い、「解放地域の聖書需要と戦後の二
聖書協会の働き」について協議しました。戦時
中の協力関係に感謝しつつ、戦後を見据えて、
世界規模の聖書協会協議会の結成を提案したの
です。

一九四五年、ヨーロッパ戦線が終結し、広島
と長崎への原爆投下の悲惨を経て、第二次世界

聖書協会の海外支援



2010年8月現在、聖書協会世界連盟（UBS）には、145の聖書協会が加盟しています。

UBSは、各聖書協会の上部機関ではなく、交わりの場であり、世界規模の聖書頒布をめざす聖書協会運動の推進機関です。そして、世界的に貧富やキリスト教教勢の格差がある中で、聖書普及に困難を感じる聖書協会を支援することもUBSの大きな役割のひとつです。

UBSの支援は、ISP（International Support Program）と呼ばれています。支援の必要な聖書協会が、実施を希望するプロジェクトを申請し、UBSはそれを取りまとめて開示します。支援できる聖書協会は、そのプロジェクトリストの中から支援先を選択します。2008年から導入されたこの仕組みにより、支援金がどう用いられるかが明

確になり、プロジェクトのために具体的に祈ることができるなど、支援先をより身近に感じながら支え合えるようになりました。

2010年度、131の国と地域から申請されたプロジェクト数は約1600、費用総額は27億円に上ります。日本聖書協会は、アジア、アフリカ、中南米など、10カ国のプロジェクトに総額207,619ドルの支援を計画していますが、世界的に厳しい経済状況にあって、さらなる協力が求められています。

UBSと日本聖書協会は、聖書の翻訳・製作・頒布・識字のあらゆる分野から、すべての人が自分の言葉で聖書を読める日が来ることを目指して働きを進めています。みなさまのご理解とご協力を切にお願いいたします。



ヘイワーズ・ヒースに集まった13の聖書協会とWCCの代表者（1946年5月9日）

大戦が終わりを告げようとするとき、多くの人が聖書普及事業の膨大な需要を痛感しました。

◆聖書協会世界連盟の設立

一九四六年五月六日、英国ヘイワーズ・ヒースの教区センター「エルフィンズワード」で、歴史を変える聖書協会の国際会議が行われました。英国、米国、スコットランド、オランダ、チェコスロバキア、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ノルウェー、ポーランド、スウェーデン、スイスという一三の聖書協会およびWCCの代表者が集結し、戦時下の困難に耐えて神に守られた体験を分かち合ったのです。その中には、戦火の犠牲になった者、自宅に監禁された者やゲシュタポに虐待された者もいました。ニルンベルグの刑務所から解放された直後に、この会議に同志として招かれたドイツの教会代表者もいました。

「終戦を迎えた今、ヨーロッパのみならず、すべての国の聖書頒布の需要を把握し、お互いの知識を結集し、相互に意見を出し合うため、『一致にこそ力がある』ことを信じてこの会議を招聘した」。

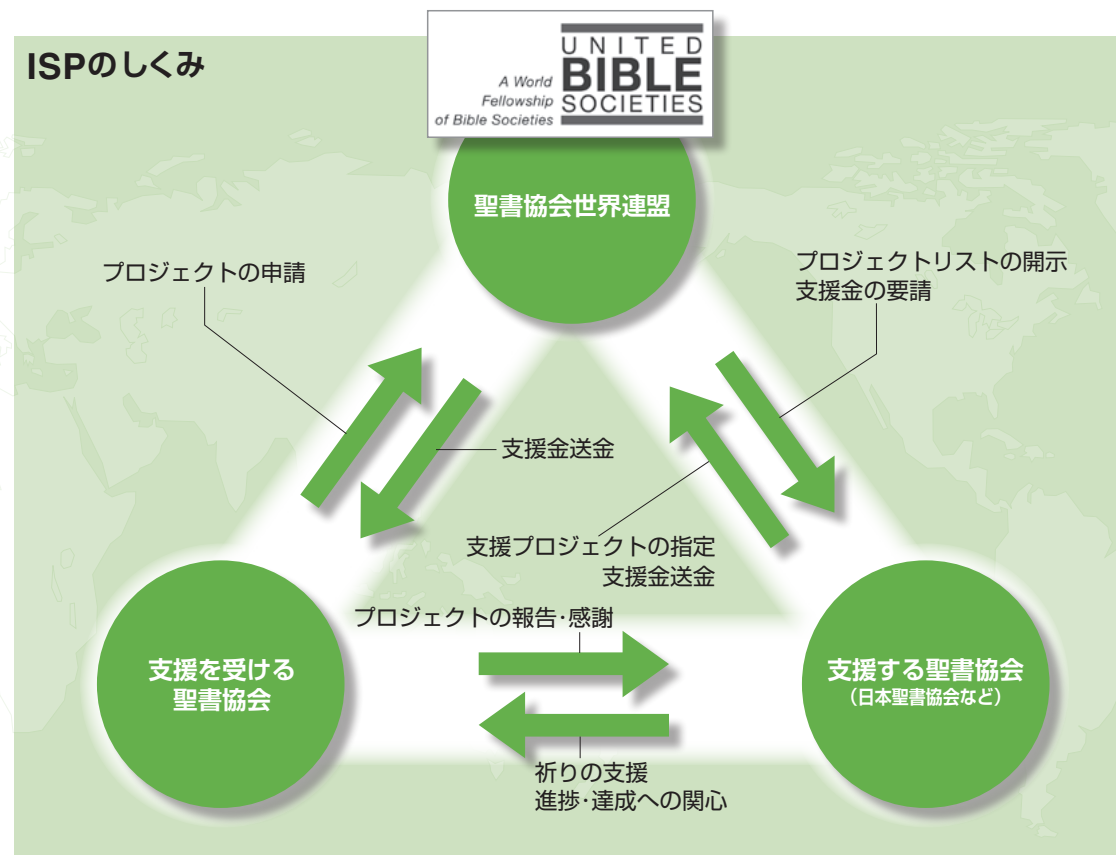
この会議の目的と、一九三三年および三十九年の会議での協議事項の説明が、テンブルBFB総主事によってなされました。また、ヨーロッパに中央事務局を設置する計画を打ち上

げ、ノースABS総主事が「聖書協会同士の協力に關して」と題した提議を行いました。議題は七日の夜から八日の終日、討議され、中央事務局の働きとして以下の七つの項目がノースABS総主事により提示されました。

- ① 他国のニーズに応えられる聖書協会への情報提供
- ② 募金の重複を防ぐための調整
- ③ 製作、頒布、広報活動の経験を互いに分かち合うための支援
- ④ 聖書協会のない国の教会に聖書普及事業の重要性を説くこと
- ⑤ 宣教地において翻訳と出版の発展に助力すること
- ⑥ 特例地域の調査と支援
- ⑦ 必要とする聖書協会への諸言語の聖書の情報提供

その結果、出席している六つ以上の聖書協会の同意および加盟をもって、聖書協会世界連盟の設立を決定することとなりました。こうして紆余曲折を経たのち、ついに一九四六年七月一日、六つの聖書協会の理事会の同意を得、テンブルを初代総主事にして、聖書協会世界連盟（United Bible Societies＝UBS）が誕生したのである。

ISPのしくみ



福音書を読む

「教師」イエスの探求

山内一郎

やまうち いちろう

関西学院大学名誉教授



イエスの秘義

イエスは生前、「弟子」を呼び集め、盛んに教えた（マコ一・二二以下他）。「知恵の教師」として旧約聖書や知恵文学に共通した譬え（直、隠喩）、格言、誇張法や反立法、そして韻律を伴う詩趣に富んだレトリックなど、様々なセム的口伝法を駆使し、卓抜な話法で巧みに問答・討論を試みたが（同二・二二以下並行、マタ一三・三三、ルカ六・三九他多数）、その一方で、イエスは同時代の「ラビ」や「律法学者」とは異質のカリスマ的「巡回教師」として、何時、何処でも公然と教え、ガリラヤの民衆、とりわけ貧者、病人、女性や子供、「罪人」や非ユダヤ人など「アウトサイダー」を含む、万人に対する開かれた態度で自由に振る舞った（マコ一・二二―三九他）。

イエスの教えには、「律法」を固定化しない直接的な「招き」の性格が明瞭であり（マコ一・一五参照）、福音書には「預言者イエス」のイメージもかなり定着している（同六・一五、八・二八各並行、マタ一五・二四、ルカ二・四九他）。にも拘わらず、イエスが預言者たちの「主はこう言われる」という形式的、依存的発想を超脱して、「しかし、わたしはあなたがたに言う」という未聞の導入で呼びか

け、強い語調でチャレンジした（マタ五・二二―四八）。その言動一切の背後には、「遣わされたもの」の自覚と使命の意味を問う絶えざる「祈り」の修練が隠されていた（同七・七一、ルカ一・五―八他）。神の実在体験を基底とするこのような「我―汝」「神―人」呼応の人格的「交わり」の次元（マタ一・二七）、「直接的な確証」（E・ケーゼマン）こそ、「教師」イエスの秘義に他ならない。それ故、「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ」というマルコの解釈的言辭（マコ一・二七並行）は、不信の人々の「蹟き」、イエスの「招き」に反発したユダヤ人たちが、これを政治的に危険視した異邦人らによる策謀（マコ三・六他）、そしてゴルゴタの十字架刑というもつとも確実な史的事実に符合一致するものである。

「師弟同行」の道

イエスと弟子の関係にもつとも近いのは「ラビ」と「タルミード」（書生）のそれであるが、そもそも「弟子」の概念自体、イエスにおいては殆ど換骨奪胎されている。タルミードの目標は、自ら志を立てて入門し、それこそ「三尺下がつて師の影を踏まぬ」歩き方を仕込まれる。しかし「弟子」たちの場合

家族、兄弟姉妹（マタ二・五〇）、友（ヨハ一五・一五）としての「祈りと愛」の共同を目指す、福音書は例外なく、このイエスと「小さき群れ」（ルカ二・三三）の「師弟同行」、そして「別離」を予想した遺訓と修道の跡を伝え（受難史）までの各部分、「派遣命令」伝承（マコ六・七―一三並行）の必然性もここに認められる。

四福音書における「教師」イエス

福音書は、信じ告白される「キリスト」が単なる観念（イデー）に変質しないために、

入念に編み出された「師」イエスと「弟子」たちの出会いの物語である。「ケリーユグマ」（信条Ⅱイエスの誕生、十字架、葬り、復活、昇天、高擧）を基底とする「ディダケー」（教説Ⅱイエスの生涯、教え、弟子道）の書と名付けてもいい。その限り、全巻が伝道と教育のための「カテキズム」（問答・対話編）としても機能し、有益である。

ただし、「福音書」という文学的ジャンルは共通であっても、「教師」としてのイエス像は決して単一ではなく、それぞれが優れて個性的である。「マルコ」は「福音」（ユアンゲリオン）をキーワードとして、権威ある新しい教えの主体であり客体でもある教師（ディダスカロス）イエスを描き、福音の「書」（ビブロス）としての性格を表す「マタイ」は、律法の成就者、解釈者たる教師（カセーゲテース）イエス、「ルカ」は「物語」としてのスタイルを際立たせながら、救済史の中心に立つ模範としての教師（エピスタテース）イエス、そして「ヨハネ」は「真理」（ロゴス）としての教師（ラビ・ディダスカロス）が、今や（パラクレートス）（助け主）として生き、働いていることを証言する。



※本編は、二〇一〇年三―四月にクリスチャンセンター神戸バイブル・ハウスで開かれた「第44回聖書セミナー」の講義内容から、本誌のために改めてご執筆いただきました。

銭形平次の作者

野村胡堂と聖書

鈴木範久

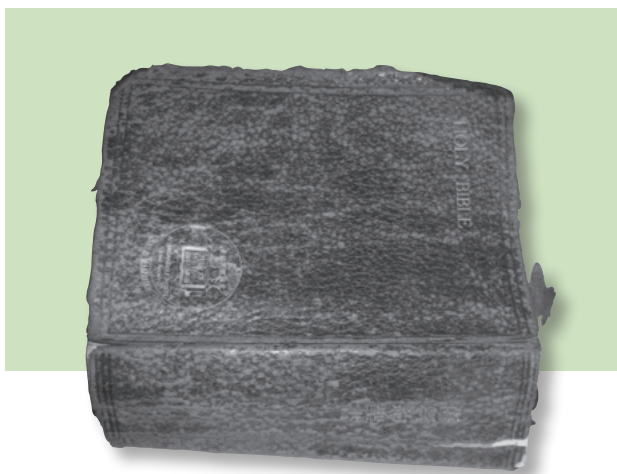
すずきのりひさ 立教大学名誉教授

クリスチャン

一九六一（昭和三六）年、岩波書店から刊行された『啄木全集』の別巻に『啄木案内』が加えられている。そのなかで、盛岡中学時代、啄木の先輩であり親友でもあった野村胡堂が、啄木を語る座談会に出席、時代のキリスト教熱を語るとともに「私などは今でもクリスチャンです」とみずから告白している。

のちに胡堂を名乗る野村長一^{おさかず}は、盛岡中学から東京の第一高等学校に入学。在学中に校長として新渡戸稲造が着任し、校内にキリスト教的風潮がたかまる。胡堂は次のような回想を残している。

その頃の私の記憶に残ったのは、^{（マヤマ）}壱岐坂



教会の海老名弾正師の雄弁と、一高の校長の新渡戸稲造先生の温容と、内村鑑三先生の怖さであったが、これは呼び捨てにして書いては私の心が痛む。

この文から推して、胡堂は、一高校長の新渡戸稲造はいうまでもないが、海老名弾正や内村鑑三の話も聴いていることがわかる。

あいつぐ子どもたちの死

胡堂は、一九一〇（明治四三）年、同郷の橋本ハナとの間の長年の恋が認められて結婚、長女^{あつ}淳、長男^{かずひこ}一彦、次女^{けいこ}瓊子、三女^{しんこ}稔子が生まれた。入社した報知新聞社での仕事も順調だった。

ところが一九二七（昭和二）年、まだ一

六歳の長女淳を失う。悲嘆にくれる妻ハナに胡堂が贈った聖書が遺されている（野村胡堂・あらえびす記念館所蔵）。それは一九一四（大正三）年刊行の『旧新約聖書』であり、題紙には次の献辞が記されている。

一九二七年 聖誕祭
はな子 殿

長一

つづいて一九三四（昭和九）年には、東京帝国大学に入学したにもかかわらず闘病生活を送っていた長男一彦が世を去る。二〇歳であった。一彦は成城高校時代から親友の前田陽一、松田智雄とともに内村門下の金沢常雄の伝道集会に出席していた。病中の息子を慰

めようとして、前年のクリスマスに胡堂はヘンデルの「メサイア」のレコードを贈った（金沢常雄「野村一彦君の生涯と死」、『信望愛』七一、一九三四年三月一日）。

このころ、母ハナも金沢常雄の集会に出席。なお、前田陽一の母（前田多門の妻）は金沢常雄の姉であった。その関係で、陽一の妹美恵子（のちの神谷美恵子）も集会に出席していた。美恵子が金沢常雄に従ってハンセン病施設の集会に出たことが、医師の道を志す機縁となる。また、美恵子と一彦との間には愛が芽ぐみつつあった。

さらに一九四〇（昭和一五）年、今度は、松田智雄と結婚してまもない三女瓊子まで失った。二三歳だった。瓊子は、すでに『七つの蕾』などの作品で知られる文才の持ち主だった。文才だけでなく信仰的にも篤信の女性であったことが、やはり金沢常雄の追悼文からわかる（金沢常雄「松田瓊子の告別式辞」、『信望愛』一四二、一九四〇年二月七日）。

銭形平次の精神

四人の子どものうち三人にまで、いずれも若い年齢で先立たれた胡堂夫妻の心情は察するに余りある。深い悲哀の心は、その代表作『銭形平次捕物控』にも反映せずにはおかない。

胡堂は太田愛人に対し、「私は銭形平次を



キリスト教の精神で書いているんだよ」と語ったとされている（太田愛人『野村胡堂・あらえびすとその時代』、教文館、二〇〇三年）。それは、「罪人を許し、あべこべに偽善者を罰したりすること」、「侍階級に対する反抗」があること、「徹底的に江戸の庶民を書く」という執筆姿勢に反映している（『随筆銭形平次』、旺文社文庫、一九七九年）。

胡堂は、戦後は自宅で聖書集会を開いていた。前号の「中勘助と聖書」のところで述べた伝道者、塩田章は、一九五七（昭和三二）年二月一七日（日）に「銭形平次捕物帖の野村胡堂氏宅の聖書集会」で話をしている。集会に数年出席していた酒本良平によると、集会の名はガラヤ会と称し、酒本の提案が認められたものという。

なくてはならぬもの

長谷川与志充

エッセー

33

二〇一〇年五月二六日、敬愛する大塚浩人先生（単立・愛のキリスト教会牧師）が突然天に召されました。先生は週に二度の人工透析を行い、糖尿病と闘いながら、自殺を考えている人々を救い出す尊い働きを、まさに命がけで全うされた方でした。先生自身、かつて自殺しようとした経験を生かして、インターネットを通して自殺志願の人々と関わり、彼らを主に導いておられたのです。私が昨年五月に先生を岐阜に訪問した際、その働きを通して受洗に導かれた人の数をお尋ねしたところ、全国で一五〇名にも及ぶという、驚くべきお証しをうかがうことができました。

大塚先生は召される直前の四月と五月の二回、岐阜三浦綾子読書会を導き、そこで三浦綾子さんの処女作であり代表作でもある『氷点』を課題図書に選ばれました。『氷点』のテーマが「原罪」であることはよく知られていますが、もう一つの重要なテーマは、人間にとって「なくてはならぬもの」と言えるかと思っています。『氷点』の中には「自殺」をした人物が何人か登場しますが、彼らは、生きるために「なくてはならぬもの」を見つけれなかったために死を選ぶ以外に選択肢がなかったのです。

たとえば、『氷点』の半ばで正木次郎という人物が登場します。彼は病気が治り、退院する時になって飛び降り自殺をしてしまいます。彼の宛名のない遺書には、このように記されていました。「結局人間は死ぬものなのだ。正木次郎をどうしても必要だといってくれる世界はどこにもないのに、うろろろ生きていくのは恥辱だ」。このことを聞いた時、主人公の辻口陽子はこう思います。「結局は、その人もかけがえない存在になりたかったのだわ。もし、その人をだれかが真剣に愛していてくれたなら、その人は死んだらうか」。ここで、人間にとって「なくてはならぬもの」が明らか

かにされています。それは「愛」です。

それから『氷点』の最後で、主人公の辻口陽子が自殺しようとしています。彼女は、育ての母である辻口夏枝から、自分が殺人犯の娘であることを知らされ、自分の中に罪の可能性「氷点」を見出し、生きる望みを失ってしまいます。彼女は両親宛ての遺書の中でこう叫びます。「私は今まで、こんなに人にゆるしてほしいと思ったことはありませんでした。けれども、今、『ゆるし』がほしいのです。おとうさまに、おかあさまに、世界のすべての人々に。私の血の中を流れる罪を、ハッキリと『ゆるす』と言ってくれる権威あるものがほしいのです」。ここでも、人間にとって「なくてはならぬもの」が明らかにされています。それは「罪の赦し」です。

辻口陽子の育ての父である辻口啓造は、ある時、教会を訪ねます。そして、そこで見た説教の題名（なくてはならぬもの）に心ひかれ、自らにこう問いかけます。「なくてはならぬものとは何だろうか？ おれにとって、なくてはならぬものとは何だろう」。それに続けてこう記されています。「啓造は十字架を見あげた」。つまり、人間にとって「なくてはならぬもの」、言い換えれば「それがなくては生きてはいけないもの」、それは「十字架」であると、この『氷点』で三浦綾子さんは私たちに語っているのです。なぜなら、「十字架」においてこそ、かけがえのない存在として私たちを愛してくださる神の「愛」が示されており、「十字架」においてこそ、ほかの方法ではどうにも解決のしようがない私たちの「罪の赦し」があるからです。

自殺を試みたことのある大塚先生も、三浦綾子さんも、この「なくてはならぬもの」である「十字架」を見出し、その生涯を、「なくてはならぬもの」「十字架」を伝えるためにささげられました。私も今、「なくてはならぬもの」「十字架」を見出した者として、「なくてはならぬもの」「十字架」を生涯宣べ伝える者とされることを、心から主に願わずにはいられません。



長谷川与志充（はせがわ・よしみつ）

三浦綾子読書会代表

単立・東京JCF牧師

日本聖泉基督教会連合・所沢ミレニアムチャーチ牧師

新刊案内



みことばフォトブック

感動の風景、身近な自然、生活のちょっとしたひとコマと、心にうかぶ聖書のことばが1つになりました。

プロ・アマを問わず、10代から90代まで、幅広い世代から寄せられた応募作品から選考・構成、まったく新しい選りすぐりの「写真」と「聖書のことば」集ができました。聖書の身近な入り口となる、新しいのに懐かしいフォトブックです。

2010年**10月1日発売予定** 定価**1,400円** (税込)



オールカラー
B5変形判 (185×185mm)
64ページ
紙装 (ジャケット掛け)
写真58点を掲載

第2回募集 詳細は web へ→ <http://www.bible.or.jp/>

感動は、続く。第2回「写真とみことば」募集

あなたの写真が、みことばの感動をさらに伝えます。

日本聖書協会では『みことばフォトブック』の続巻となる、『みことばフォトブック2』(正式タイトル未定)の2011年7月発行を計画しています。“みことば”を現代に生きるあらゆる世代に、より身近に目に見える形で届けるため、あなたの写真にのせて出版いたします。特に人と人の絆や、生活の息づかいを感じさせる写真を求めています。人物、動物、風景、思い出、建物など、テーマは自由です。個性的な作品をお待ちしています。あなたの傑作写真をぜひお寄せください。採用作品は『みことばフォトブック2』(仮称)に掲載いたします。
[オールカラー 写真と聖句100点を掲載予定]

募集要項

●写真 ○いずれも加工していないもの

- A. デジタル
1. B5判 (182×257mm) に300dpiで出力できる “長辺2,953×短辺2,079ピクセル” 以上を目安
2. おおよそ400万画素以上、JPEGなら1MB以上
- B. 紙焼き
四つ切り判 (25.4×30.5cm) 以上
- みことば (なしも可)、必要記載事項と共に (デジタルはCD-Rまたはwebサイトの応募フォームから) お送りください。
- 写真が採用された方には、刊行後、1冊贈呈いたします。
- 採用、不採用にかかわらず応募作品は返却いたしません。採用させていただいた方は著作権使用契約を結び、作品の財産権を譲渡していただくこととなります。
- 印刷物用として改めて高画質のデータの提出をお願いする場合があります。

- みことば位置を含めたレイアウト、トリミングなどは当協会が編集決定いたします。
- 写真の応募点数、1人10点まで

- みことば (聖句)
新共同訳・口語訳・文語訳からお選びください。書名・章節番号…「(書名) 〇章 (編) 〇節〜〇節」という形で指定ください。
- みことばの箇所、範囲は当協会が変更、調整させていただきます。
- みことばの箇所を当協会にお任せいただいても結構です。

- 必要記載事項
1. 氏名 (よみか) 2. 性別 3. 電話番号
4. 年齢 5. 職業 (または学年) 6. e-mailアドレス*
*ご応募いただいた内容の確認等に使用させていただくことがありますので、日常的にメールをご活用の方はできるだけご記入ください。

7. 写真タイトル
 8. 写真撮影日
 9. 撮影場所
 10. 撮影カメラ・機材 例: Canon EOS-Kiss Digital X
 11. 撮影方式 デジタル、フィルム
 12. 写真撮影時の思い出、コメント (25字以内)
- *お寄せいただきました情報は、個人情報保護法に基づき当協会が厳重に管理し、目的範囲内で適切に使用いたします。

応募締切

2011年1月31日 (月)

送り先、問い合わせ先

日本聖書協会出版部「みことばフォトブック 2」
作品採用係
〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目5-1
聖書館ビル
TEL. 03 (3567) 0386
prod@bible.or.jp



Bible Guide

聖書をiPhoneで!

日本聖書協会では、一人でも多くの方にみことばをお届けするため、現代のさまざまなニーズに対応したかたちで聖書を頒布することにも力を入れています。その中で着目したのが、いま話題の電子書籍。何と言っても、重たい本を抱えて移動しなくていいので、いつでもどこでも気軽に読書を楽しめるところが魅力です。そこで、いま人気のiPhoneで新共同訳聖書を読めるアプリをご紹介します。予想以上の読みやすさと身軽な生活、ぜひ試して、勧めてみませんか。

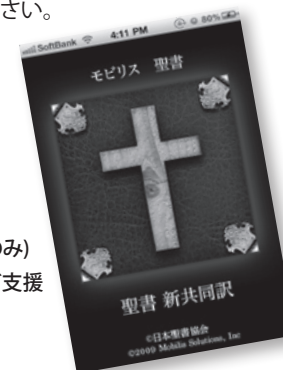
モビリス聖書 新共同訳

株式会社モビリス・ソリューションズが販売している、iPhone版新共同訳聖書アプリ。聖書をもっと身近なものにしてくれます。聖書を読む喜びはそのままに、サイズだけダウンして、ブックマークや本文検索、本文ハイライト、メモ取り機能も付いています。iPhone購入を迷っているクリスチャンの方々に、ぜひこのニュースをお伝えください。

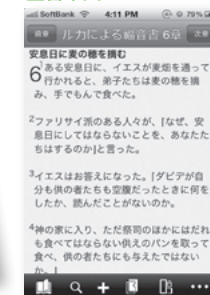
iTunes App Store
にて好評販売中
(8月20日現在3,000円)

主な機能

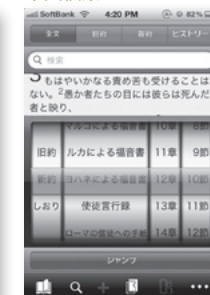
1. 本文検索
2. ブックマーク
3. 本文マーキング(6色)
4. テキストメモ
5. ボイスメモ(iPhoneのみ)
6. ランドスケープモード支援 (本文のみ)



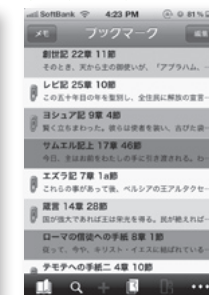
聖書本文



本文検索



ブックマーク



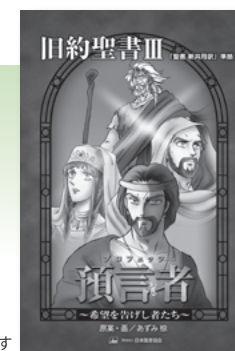
みんなの聖書マンガシリーズ iPhone版

電子書籍では、文字のみの本だけでなく、絵本や漫画などももちろん読むことができます。大好評発売中の「みんなの聖書マンガシリーズ」がいよいよiPhone版になって登場。まず第一弾、「新約聖書1 救世主(メシア)」画: ケリー篠沢

iTunes App Storeにて2010年9月販売開始予定。(予価800円)



マンガ聖書シリーズ 最終巻いよいよ 2010年末発売



旧約聖書編III

「預言者(プロフェツ)——希望を告げし者たち」
画: あずみ桜

新約聖書編2巻、旧約聖書編2巻既刊
(2010年8月末現在)

オールカラー、
天地210×左右140mm
各巻 1,050円

表紙は制作途中のものです

聖書図書館蔵書シリーズ—34

シナイ写本 4世紀

(リプリント版 1969年)
縦:26cm 横:22cm



4世紀のギリシア語写本。

新約聖書では最古の完全な大文字写本である。旧約聖書の一部、新約聖書の全巻を含んでいる。新約聖書写本中、最も貴重なものの一つ。

通常、分類記号 **Σ** (アレフ) あるいは **S** で表す。ドイツ人新約本文学者コンスタンティン・ティシェンドルフが、シナイ山麓の聖カタリナ修道院で発見したため、シナイ写本と名づけられている。

発見後、ロシア皇帝に献じられ、ロシア国立図書館に置かれていたが、ロシア革命後、イギリス政府が購入し、現在、大英博物館が所蔵している。1862年、ロシア帝国建国1000年を記念して、写本の書体に似せた活字で各行ごとに原本と合致させ、ティシェンドルフ編としてライブチヒで印刷され、4巻で出版された。

聖書図書館の蔵書は、Georg Olms社から1969年に発行されたリプリント版。

世界中のすべての人がみことばに触れることができますように！

日本聖書協会 後援会にご入会ください！

すでに会員の方は、お友達にお勧めください。

聖書は、キリストを信じる者に永遠の命を約束する「命の糧」です。この「命の糧」である聖書を届ける活動は、教会にとって欠くことができない働きであり、「すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16:15)というみ教えによって、すべてのクリスチャンが主イエス・キリストから期待されている使命です。日本聖書協会の130余年にわたる聖書頒布の働きも、多くの方々のお祈りとご献金によって支えられてまいりました。日本にも、世界にも、いまだ聖書から遠ざけられている多くの人々がいることをぜひ覚えてお祈りください。そして、これからも聖書をお届けする働きを継続していくため、後援会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

お捧げいただく年会費によって、以下のプログラムが支えられています。

後援会が
支える
3つの
プログラム

●海外聖書製作

貧困や災害、政情不安によって、聖書を製作することが難しい国々の聖書協会に対して、聖書贈呈や資金援助を行っています。

●手話訳聖書製作支援

生まれつき耳の不自由な方々に、日常慣れ親しんでいる言葉である「手話」で聖書を読んでいただけるよう、「手話訳聖書」DVDの製作を資金面で支えています。



●点字聖書製作

点字聖書1冊(旧・新約聖書34冊、続編6冊が必要)の製作費は1,600円ほどですが、製作費をご献金でまかなうことにより、1冊100円、全巻でも4,000円での頒布を実現しています。



ご入会いただいた方には、会員証と会員バッジを進呈し、年4回発行のニュースレター「からし種」をお届けして、日本聖書協会の働きを詳しくご報告いたします。

会員バッジ



★年会費は下記の5種類からお選びいただけます。

A : 1,000 円 B : 3,000 円 C : 5,000 円 D : 10,000 円 E : 50,000 円

後援会入会申し込みは、綴じ込みハガキをご利用ください。

ホームページでも「入会申し込み」をお受けしています。 <http://www.bible.or.jp/collection/col07.html>

Become a member and support the Bible Work

編集後記

今年の夏は、いったいいつまでかと思うほど厳しい暑が続きましたが、皆様、お元気でいらつしやいますか。九月の声を聞いて、徐々に日も短くなり、過ごしやすいつ季節に移るでしょう。やがて表紙絵のような紅葉がお近くでも見られるでしょうか。

今年は坂本龍馬の名をよく目にしますが、龍馬の時代の英雄といえば西郷隆盛を外せません。近年、西郷が聖書に深く親しみ、聖書を教えていたという証言が紹介され、話題を呼びました(二〇〇七年二月八日付「南日本新聞」など)。内村鑑三は『代表的日本人』(鈴木範久訳、岩波文庫)で、西郷の言葉「天はあらゆる人を同一に愛する。ゆえに我々も自分を愛するように人を愛さなければならぬ」を引いて、「そのような壮大な教えをどこから得たのか」と述べています。西郷の「敬天愛人」の思想に聖書の影響があるのか否か、意見は分かれるようです。ただ西郷が「西洋と交際するにはぜひ耶蘇の研究もしておかにや具合が悪い。よくみておくがよい」と言っており、二分冊の漢訳聖書を側近に貸したという証言もあります(佐高信『西郷隆盛伝説』角川文庫)。

今号は聖書協会の歴史の始まりから、第二次大戦後までもなく聖書協会世界連盟が組織されるまでを特集しました。先人らの努力によって、かつて極東の禁教下で密かに西郷が手にした聖書を、私たちは自由に読むことができます。この秋、心新たに聖書をひもとくとき、読み通してみたいかがでしょうか。